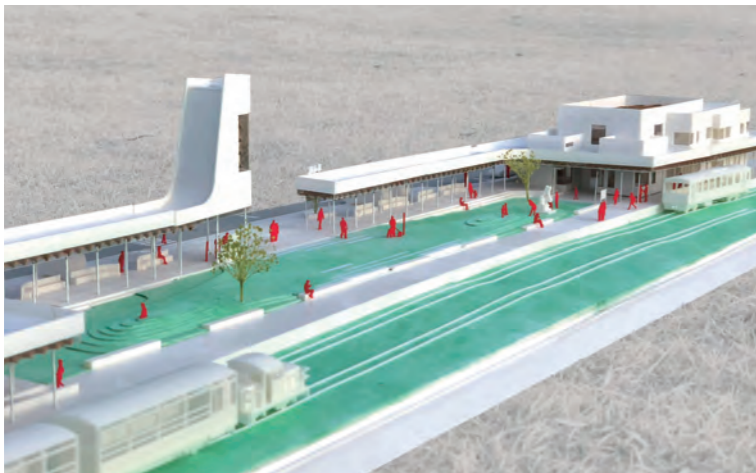


とにかく広いプラットフォーム

南阿蘇鉄道高森駅周辺再開発



南阿蘇鉄道の全線復旧を見据え、高森駅の建て替えや駅周辺の再開発を行う112番目のくまもとアートポリスプロジェクト。令和3年度(2021年度)は土木、排水等工事に着手し、令和4年度(2022年度)からは新駅舎工事に着手する。

新駅舎工事に先立ち、このプロジェクトの特徴でもある3次元相持ち構造の施工方法等を確認するため、モックアップを製作した。また、製作したモックアップを活用し、高森町の中学生を対象としたワークショップも開催された。3次元相持ち構造は庇や回廊部に用いられ、回廊の一部には高森町の南郷檜を活用する。プロポーザルで提案された「とにかく広いプラットフォーム」も含め、ここにしかない風景を創出し、熊本地震からの創造的復興のシンボルとなるよう工事が進められている。

事業概要
 構造・階数: 木造・地上2階
 延べ面積: 新駅舎 500㎡程度
 防災交流棟 300㎡程度
 設計者: 太田浩史/株式会社ヌーブ
 建築主: 高森町

令和2年7月豪雨

被災した公民館を再建する「みんなの家」



令和2年7月豪雨で被災した公民館に替わる「みんなの家」整備について、日本財団の支援を受け、くまもとアートポリスプロジェクトとして行っている。人吉市の4棟については「乾久美子/乾久美子建築設計事務所」、八代市の2棟については「柳澤潤/コンテンポラリーズ」が設計者として選定された。

先行している地区では、地区住民と設計者との意見交換会が行われた。「みんなの家」が憩いの場として、コミュニティ再生の場として、自然災害への対応の場として、創造的復興を語り合う場として活用できるよう、つかう人(利用者)とつくる人(設計者・施工者)が、みんながかんがえ、みんなで作るプロジェクトが進められている。

事業概要
 人吉市のみんなの家
 設計者: 乾久美子/乾久美子建築設計事務所
 八代市のみんなの家
 設計者: 柳澤潤/コンテンポラリーズ
 事業主体: 一般財団法人熊本県建築住宅センター
 協働事業者・資金助成: 日本財団
 事業協力: 一般社団法人KKN熊本工務店ネットワーク

第25回 くまもとアートポリス推進賞受賞作品決定!

くまもとアートポリス事業の一環として、建築文化に対する関心を高めるために行っている本賞。平成7年から始まり、これまでに165件の作品を表彰してきた。今年度は、令和2年7月豪雨により昨年の開催を見送ったこともあり、2年ぶりの開催となった。

今回は、42件の応募作品があり、熊本地震からの創造的復興に繋がるものも、ひとや環境に配慮したもの、地域づくりに寄与しているものなど多数あった。その中で、書類選考により10作品を選出し、現地審査・最終選考を行い、くまもとアートポリス推進賞5件、くまもとアートポリス推進賞選賞5件を決定し表彰を行った。



くまもと
アートポリス
推進賞



下江津の家



そらいろ保育園



PLAY FARM・ツリーハウス

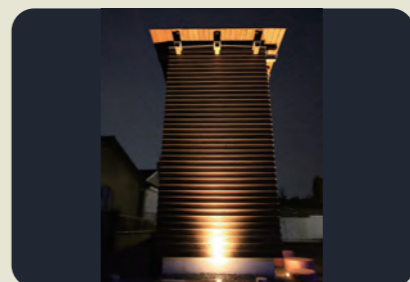


HIKE (ハイク)



八代市民俗伝統芸能伝承館
(お祭りでんでん館)

くまもと
アートポリス
推進賞選賞



益城町の事務所



切妻と土間の家



松橋の家



南阿蘇村買取型災害公営住宅
長陽西部・下西原第2団地



地獄温泉 清風荘